

即自雇用事業所に予備自衛官等協力事業所「地本長認定証」を贈呈



即自雇用事業所に予備自衛官等協力事業所「地本長認定証」を贈呈



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は10月29日（水）、ロジスティード中部株式会社藤枝出張所（藤枝市）において、予備自衛官等協力事業所「地本長認定証」の贈呈を行った。

これは、予備自衛官等が訓練等に出頭しやすい環境づくりに努めている事業所を評価し、国の防衛への協力を称揚することにより、予備自衛官等の制度に対する社会的な関心と理解を深め、同制度の円滑な運用に資することを目的としたもの。

同事業所は、平成17年から即応予備自衛官を雇用し、年間30日間の訓練出頭に合わせて業務スケジュールを調整する等、長年にわたり静岡地本の予備自衛官等制度に協力している。その功績により、この度、援護課予備自衛官室長の山上勉事務官が「地本長認定証」を同出張所の望月出張所長に手渡した。

認定証を受け取った望月出張所長からは、「このような盾をいただき大変光栄。これからも即応予備自衛官の活動に協力していきたい」と心強い言葉があり、また、同席した即応予備自衛官も「仕事と両立し、引き続き訓練に励みたい」と意欲を見せた。

静岡地本は、予備自衛官等と雇用企業によりよい関係構築のために引き続き協力し、予備自衛官等制度の普及に努めていく。

中学生が滝ヶ原駐屯地でモールス信号などを体験



山口司令の説明



モールス信号体験

自衛隊静岡地方協力本部沼津地域事務所（所長・野崎勇一2等陸尉）は10月23日（木）、陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地（御殿場市）で行われた御殿場市立御殿場中学校2年生10人の職場体験学習に協力した。

まず教場で同駐屯地司令の山口勝1等陸佐から、駐屯地の概要や部隊が担当した雲仙普賢岳での災害派遣活動の様子、自衛隊の必要性などについて説明を聞いた。山口司令は暗視ゴーグルや防弾チョッキなどを装着した迷彩服姿で登場し、生徒たちは最新の装備に興味津々な様子だった。

次にグラウンドに移動し、敬礼や気を付けといった基本教練を体験した後、駐屯地の歴史などを紹介する資料館を見学した。

昼食は、自衛官と一緒に隊員食堂でボリューム満点のカニクリームコロッケ定食を体験喫食した。食べ盛りの生徒たちは大きな茶碗いっぱいにご飯を盛り、笑顔で頬張っていた。

午後は、通信機の通話法やモールス信号の打ち方を体験した。通話法では通信職種の隊員から要点をまとめて端的に伝える方法を教わり、トランシーバーを使って生徒同士で実践した。

モールス信号の体験では、50音の和文モールス符号の一覧と電鍵を使い、自分の名前を伝えたり、内容を解読するクイズなどを行った。最初は慣れない作業に戸惑っていた生徒たちも、コツを覚えたと楽しそうな表情になり夢中で取り組んでいた。

静岡地本は、今後も中高生の職場体験学習に協力し、自衛隊の活動への理解促進を図っていく。